

# 建設コープおおさか

〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀 1-8-9  
http://www.kensetu-co-op.com 電話:06-6533-1675



## 8月の行事報告

8月理事会は開催されませんでした。

## 空き家を知ろう。～空き家発生予防のための23箇条～

第01条 年に数回利用したり、倉庫として利用していても普段、住んでいなければ、それは空き家です。

空き家とは住んでいない家のこと。人の出入りの有無や、電気、ガス、水道の利用状況、物件の登記や住民票の内容、管理状況、利用実績などで判断される。

空き家にする理由は様々。でも、それもこれも空き家なんです。空き家は全国で849万戸。全国では6分に1戸のペースで増えています。

第02条 実家の相続、施設への入所、転勤など、よくある理由で空き家は生じる。

なぜ空き家になったのか。最も多いのは、最後に住んでいた人が死亡したため(32.2%)。別の住宅へ転居(27.9%)、老人ホームに入居(14.0%)などの理由。そんな空き家を所有することになった原因の52%が相続によるものです。

Uターンの多くは20～30歳代で行われ、それ以降の年代では、ほとんど期待できない。一方、空き家の所有者は40歳以上がほとんど。将来、子供たちが空き家を使うことはあまり起こらないかも知れない。

第03条 住まいは使うことで換気や通水など必要な管理ができる。

住まいの劣化：カビ・結露の発生 外壁の剥離 排水パイプからの悪臭  
草木の繁茂 害獣・害虫その他の問題：庭への不法投棄 犯罪の発生 不法占拠

第04条 空き家は周りに迷惑をかけます。

周辺の迷惑となる：危険が及ぶ 不衛生になる 景観を損なう  
その他の迷惑(通行の妨げ、放火や犯罪者の潜伏など 犯罪の誘発など)

## 大阪府

### 「感染防止宣言ステッカー」登録の推進について

新型コロナウイルス感染症拡大防止と住民への安心の提供のため、ぜひ感染防止宣言ステッカーの登録にご協力ください!

大阪府 感染防止宣言ステッカー

感染防止宣言ステッカーの発行手順 ※大阪府HP(活用フォーム)にて

ガイドラインが策定されている施設  
※特に、過去に全国でクラスターが発生した施設や、飲食店については、導入を強く推奨しています。

やっつけろ! 感染防止宣言ステッカー

登録完了!

登録はこちらから!!

登録後は、施設・店舗での掲示と併せてホームページ、各種SNSなどで員店ステッカーや対策内容のPRを!!

※以上の各種SNSはU-19です。



放置された空き家はこんな心配が...



## 「長寿命化リフォーム」～住まいと暮らしの充実～

事業方針の明確化

【取組み②】信用・信頼の根拠の見える化

建築やリフォームに関する法令を遵守する

リフォーム業界におけるコンプライアンスの例

「建築技術」に対するもの：建築基準法・消防法・品確法・バリアフリー新法など

「企業経営」に関するもの：建設業法・労働基準法・廃棄物処理法など

公的な許可や団体登録等の状況を示す

公的なお墨付きを示す法令

- ①建設業許可の取得
- ②「建設リフォーム事業者団体登録制度」に基づく住宅リフォーム事業者団体への入会・所属
- ③地方公共団体のリフォーム関連の制度への登録
- ④「住宅瑕疵担保責任保険法人」への登録と活用

HP を開設し、自社の理念・コンセプトや事例・口コミ等を蓄積し、発信する

- ①自社 HP からの情報発信
- ②公的機関が運営するポータルサイトへの登録

自社 HP 等(自から発信)：自社 HP・Facebook, Instagram 等の SNS など

ポータルサイトへの登録：リフォームポータルサイト、「リフォーム評価ナビ」など

自社が提供するリフォームに有効な資格を有するスタッフがいることを示す

リフォーム事業に有効な資格例

企画計画関連	・建築士（一級、二級、木造） ・マンションリフォームマネジャー ・増改築相談員 ・インテリアプランナー など
施工関連 (建築施工関連)	・建築技能士 ・塗装技能士 ・表装技能士 ・足場の組立等作業主任者 など
施工関連 (設備施工関連)	・管工事施工管理技士 ・建築配管技能士 ・電気工事士 ・消防設備士 ・施工管理技士(一級、二級) など
不動産取引関連	・宅建士 ・既存住宅状況調査技術者 など
その他	・福祉住環境コーディネーター ・ファイナンシャルプランナー (FP) など



### 【編集後記】

夏の暑さはまだ続っていますが、季節は少しずつ秋に向かっていきます。台風の季節になってきました。大阪は、台風があまり来ることはなく毎回逸れていたような気がします。気温の上昇とともに多く発生し吹き荒れる。2年前の大型台風が再び来たらどうしようと。家の中にまで暴風雨音が長い時間響き通り過ぎた後の大きな爪痕に唖然としたことが思い出される。

